

文部科学大臣杯
第 23 回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会
開 催 要 項

主 催：公益財団法人全日本ボウリング協会・公益財団法人川崎市スポーツ協会

共 催：川崎市・川崎市教育委員会

後 援：スポーツ庁・神奈川県教育委員会・公益財団法人神奈川県体育協会
神奈川県高等学校体育連盟・川崎地区高等学校体育連盟
全国ボウリング公認競技場協議会・神奈川新聞社・t v k（テレビ神奈川）

協 力：公益社団法人日本ボウリング場協会・川崎グランドボウル・読売新聞川崎読売会
川崎ホテルパーク・パールホテル川崎・ホテルスカイコート川崎
川崎セントラルホテル

協 賛：川崎アゼリア株式会社

主管運営：神奈川県ボウリング連盟

開催月日：平成 28 年 12 月 23 日(金・祝) ～ 25 日(日)

会 場：川崎グランドボウル（公競No.114-23） BW52L (26L+26L)
〒210-0012 川崎市川崎区宮前町 11-14
TEL 044-244-2281 FAX 044-244-2283

川崎市教育文化会館（開会式場・大会本部）
〒210-0011 川崎市川崎区富士見 2-1-3
TEL 044-233-6361 FAX 044-244-2347

競技種目：男子の部 各学校対抗 2 人チーム戦
女子の部 各学校対抗 2 人チーム戦

競技方式：デュアルレーン方式(アメリカ方式)で実施する。

競技方法：予選 男子・女子とも 3 回戦(1 人 9 ゲーム)の競技を行い、その合計得点(チーム 18 ゲーム)の上位 8 チームが決勝トーナメントに進出する。
決勝 男子・女子とも上位 8 チームにより、1 ゲームマッチのトーナメントを行い、その成績により優勝校並びに順位を決定する。

競技規程：公益財団法人全日本ボウリング協会制定のボウリング競技規則並びに選手権競技会規程による。

同位の裁定：予選において同位が生じた場合、第 133 条に基づき裁定する。
決勝において同点の場合は各チーム 1 名の競技者による 9・10 フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格：平成 28 年度公益財団法人全日本ボウリング協会高等学校登録会員、またはジュニア会員の高等学校在学者に限る。ただし、満 18 歳未満(平成 28 年 4 月 1 日現在)とする。

- 参加校数：1. 基本割当は各都道府県出場校男子・女子各 1 校とし、ボーナス割当については公益財団法人全日本ボウリング協会競技委員会にて決定する。また、高等学校登録校で男子 15 名以上、女子 6 名以上の登録がある学校は 2 チーム参加できるが、決勝には同一校 1 チーム(予選上位チーム)のみ出場できるものとする。
また、前回男子・女子優勝校はシード校とする。
2. 第 22 回大会の男子・女子優勝校
男子 神奈川県 県立横須賀工業高等学校
女子 東京都 堀越高等学校
3. 最大参加校数は男子・女子合わせて 96 チームとし、先着順で締め切る。

チーム編成：男子・女子とも、各学校単位でチームを編成(2 名)すること。
補欠選手登録は 1 チーム 1 名とする。

褒 賞：男子校・女子校とも 優勝～第 8 位まで
※男子・女子優勝校には文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する
個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞(男子・女子別 予選 9 ゲームを対象とする)
参加賞 参加者全員に贈る

特 典：第 23 回大会男子・女子優勝校は、第 24 回大会のシード校とする

施設使用料：1 チーム 16,000 円(JBC 負担金 4,000 円 参加チーム負担金 12,000 円)
※決勝トーナメントは無料

申込方法：所定の申込用紙に必要事項を記入し、各都道府県連盟でまとめ参加チーム負担金(1 チーム 12,000 円)と一緒に期日までに主管連盟に申し込むこと。

申 込 先：神奈川県ボウリング連盟
〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町 1-2
TEL 044-555-5125 FAX 044-555-5126

申込締切：平成 28 年 11 月 22 日(火) 厳守

振 込 先：別紙送金明細書参照のこと。なお、送金締切日は平成 28 年 11 月 25 日(金)厳守。

<注意事項>

- ① 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- ② 参加申込にあたっては、申込書に学校長承認印を捺印のこと。
- ③ 原則として各都道府県にて予選会を行い、男子・女子各 1 校を選出すること。
- ④ 今大会、各都道府県連盟旗は不要。
- ⑤ 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2 個目から 1 個につき 500 円の登録料を納めるものとし、5 個目からは特別保管料として、1 個につき 1,000 円を追加徴収する。また、ボールの追加登録は原則として認めない。

- ⑥ 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- ⑦ 未検査のボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は 1 個 500 円（硬度検査のみ 200 円）とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- ⑧ 大会に使用するボールの持ち込みは 4 個以内に自粛すること。
- ⑨ 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記入し、300 円の発行手数料を添えて申請すること。
- ⑩ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

この事業は公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団の助成を受けて実施しています。